子ども救急ハンドブック

改訂第３版

沖縄県・公益社団法人 沖縄県小児保健協会

はじめに

- 子どもが急な病気やけがをした場合など、不安な気持ちから、軽い症状でも救急医療機関を受診する方が増え、救急外来が大変混み合っています。
  このままでは、救急処置が必要な患者さんへの対応に遅れや支障が出る可能性があります。
- このハンドブックは、お子さんの急病で不安な時に、「すぐに救急を受診するか」、「家庭で様子を見ても大丈夫か」の判断ができるように作成しました。
- 病状を良く観察すると、家庭での看護で済むときもあります。また、救急を受診する時に、持参するものについても記載しています。

このハンドブックを活用して、適切な救急医療機関の受診を心がけましょう。

目　次

はじめに
目次
沖縄県の小児救急の現状 …… 1
上手な病院のかかり方 …… 2
救急車の利用の仕方 …… 5
救急医療機関を受診する前に

急病の時

1. 発熱 …… 7
2. せきやゼーゼー …… 11
3. けいれん（ひきつけ） …… 13
4. 吐いた（吐き気が強い） …… 15
5. 下痢 …… 17
6. お腹が痛い …… 19
7. 発疹（ぶつぶつ）がでた …… 21
8. 泣きやまない・いつもと泣き方が違う …… 23

事故やけがの時

1. 誤飲 …… 25
2. 鼻血 …… 28
3. やけど …… 29
4. 頭を打った …… 31
5. ハチに刺された …… 33
6. ハブクラゲに刺された時 …… 34
7. 咬まれた …… 35

沖縄県の小児救急医療機関 …… 36
大切な情報 …… 39
memo …… 40

沖縄県の小児救急の現状

沖縄県は全国一出生率が高く、15歳未満の小児が人口の約20%を占めています。かかりつけ医の診療時間外に子どもの具合が悪くなると、不安になり救急医療機関を利用することがあります。

沖縄県では休日夜間救急を受診した患者の30～40%を、小児が占めています。小児の夜間救急患者の90%は急を要しない軽症です。

沖縄県は公的医療機関を中心に24時間365日の救急診療体制をとってきました。しかし2009年の時点で県内の小児科医師は約200名です。

この中で24時間体制の時間外救急に対応している小児科医は約60名に過ぎません。県内の24時間救急体制を維持するために小児科医師に過重の負担がかかり、救急体制の維持が困難なほど疲弊しています。

そして小児救急の現場から小児科医がどんどんいなくなっています。

地域の皆様の適切な救急医療機関の利用が、小児救急医療の崩壊を食い止めるために必要です。

上手な病院のかかり方

1 かかりつけ医を決めておきましょう

「かかりつけ医」とは、子どもの病気や予防接種、育児など気軽に相談できるお医者さんのことです。子どもの具合が悪くなった時も安心です。必要な場合は適切な病院やお医者さんを紹介してもらうこともできます。子どもの様子がいつもと違う場合、子どもの体調がおかしいなと思ったら、早めにかかりつけ医に診てもらいましょう。

2 総合病院とは

診療時間内は、医師、看護師、薬剤師、検査技師など多くのスタッフがそろっていますが、診療時間外は入院中の患者さんに対応する最小限のスタッフとなります。予約外の受診の場合、いつも同じ担当医に診てもらえるとは限りません。

3 できるだけ診療時間内に受診しましょう

休日や夜間の救急医療機関は、命にかかわる緊急を要する患者さんに備えるためのものです。重症の緊急を要する患者さんの診療に支障をきたすことがあります。

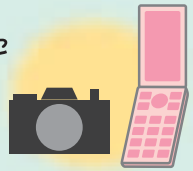
4 休日や夜間救急のかかり方

子どもの状態が悪くなった場合、救急医療機関を受診することがあります。あらかじめ地域の時間外や休日の救急医療機関を確認しておきましょう。
受診の際は子どもの症状や様子がわかる人がつれて行きましょう。

5 あらかじめお子さんの病状を整理しておきましょう

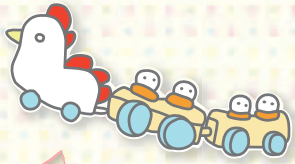
- 気になる症状はなんですか（一番心配なこと）
- その症状はいつから続いていますか
  何日頃から、何時頃から、1日何回位など
- 今まで大きな病気をしたことがありますか
- 薬や食べ物にアレルギーがありますか
- 家族にも同じような症状がありますか
- 保育園で同じような病気のお子さんがいますか

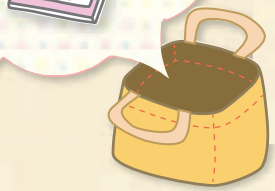
- 発疹がある場合、他の子どもに移す可能性があります。受付で発疹が出ていることを伝えてください。
  デジタルカメラなどで記録し、受診の際に持参すると診断に役立ちます。
- 下痢や嘔吐の場合、便や吐いた物を、受診の際に持参すると適切な診断に役立ちます。



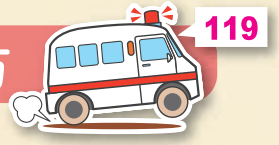
6 受診に必要なもの

- □ 健康保険証
- □ 親子健康手帳（母子手帳）
- □ 診察券
- □ お薬手帳（飲んでいる薬の名前がわかるもの）
- □ 現金
- □ 着替えやタオル
- □ おむつ
- □ ティッシュペーパー
- □ ビニール袋
- □ おもちゃ、絵本など





救急車の利用の仕方



落ち着いて救急車が必要か判断してください

1. こんな時は救急車を利用してください

- 意識がない
- けいれんが止まらない、繰り返しけいれんする
- 息が荒く呼吸が困難で、顔色が悪い
- 激しい痛み（頭痛、腹痛、胸痛など）がある
- 出血が止まらない

2. 救急車の呼び方

1）**局番なしの「119」**をダイヤルする。
2）できるだけ固定電話を利用してください。
　携帯電話は隣接の消防署につながることがあります。
3）**「火事ですか、救急ですか」**ときかれますので、
　「救急です」と伝えてください。
4）救急車に来てもらう場所を伝えてください。
　住所(市町村名から番地まで)、氏名、電話番号(携帯電話も可)
　マンションの場合、マンションの名前、号棟、階、号室まで伝えましょう。
　場所がわからない場合、目印となる建物や道路名などを伝えましょう。
5）**子どもの年齢や症状**などを伝え、応急処置などを指示された場合、指示に従ってください。
6）救急車のサイレンがきこえたら、可能な場合、誘導する人を表で待機させてください。
7）救急車が到着したら救急隊員に以下のことを伝えてください。

［到着するまでの様態の変化
応急手当の内容
持病がある場合は、その病名とかかりつけ医］

救急医療機関を受診する前に

急病の時

家で様子を見るか、救急医療機関を受診したほうがよいかどうか判断するための情報をまとめてあります

発熱（38℃以上）

3か月未満

3か月～6歳

- □元気がなくぐったりしている
- □おしっこが出ない
- □ぐずって眠らない
- □水分をとろうとしない
- □何度も吐く、吐きそうになる
- □せきがひどい

1つ以上あてはまる

1つもあてはまらない

かかりつけ医、または救急医療機関を受診する

症状が悪くなるようなら

自宅で様子を見る
診療時間内なら、かかりつけ医で診てもらう

●観察のポイント

- 子どもは夜にかけて発熱することが多いものです。熱があってもいつもと同じように遊んだり、食欲もあるようなら自宅で安静にして様子をみてもかまいません。
- 乳幼児は、普段でも体温が高めです。38℃以上を発熱と考えてください。入浴や、母乳・ミルクを飲んだ後、食事直後、運動後は体温が高めになります。体温は静かにしているときに測りましょう。

●家庭でできること

- 熱の出始めは手足が冷たく、寒気がして震えることがあります。寒がるとき、震えるときは、暖かくしてあげてください。暑がるようになったら、子どもが楽に感じる程度に冷やしてあげてください。
- 飲み物（水分）は普段より少し多めに、こまめに与えましょう。
- 汗をかいていたら、汗を拭いてこまめに着替えさせてください。
- 元気そうなら、熱冷ましは使わなくてもかまいません。
- 元気なら清潔にする程度で入浴はかまいません。寒い時期は、湯冷めに注意してください。

お医者さんに伝えてほしいこと

- いつから何度くらいの熱がどのくらい続いていますか
- どこか病院（医院）を受診しましたか
- 何かお薬を飲ませましたか

発熱

子どもの発熱の原因の多くはウイルスや細菌などの感染によるものです。ウイルスなどの病原体は熱に対して弱く、逆に子どもの体は熱が出るとウイルスや細菌と戦う力が増します。熱が出るということは感染にかかった信号であり、体が正常に反応していることを示しています。病気が治るにつれて、発熱しなくなります。

熱の出始めには、寒気がして震えることがあります。病原体と戦うため、熱を体の外に逃がさないように皮膚の血管が収縮すると、手足が冷たくなり寒気が起こります。また全身の筋肉を細かく震えさせることで体温を上げようとします。寒気や震えがある時は、冷やすより手足を温めてください。

高熱で、頭が変にならないか心配される方もいますが、熱だけで頭がおかしくなることはありません。

熱が出てもあわてず、子どもの状態をよく観察することが大切です。

せき

せきはのどや気管などの呼吸器が炎症を起こした時だけでなく、異物やほこりを吸い込んだ時、気温の変化が大きい時などにもみられることがあります。

せきは気道や気管支にたまった痰や分泌物を体の外に排出しようとする反応であり、肺や気管支をきれいにするためのものです。

せきをしていても、ほかに症状がなく元気な場合は様子をみてください。

発熱や鼻水などの症状を伴う場合、またはのどを痛がる場合は、できるだけ早めにかかりつけ医を受診しましょう。

せき込んで何度も吐く場合、横になると苦しそうで座り込んだり、抱っこしていないとぐずる場合は、できるだけ早めにかかりつけ医を受診してください。

せきゃゼーゼー

- □ ゼーゼー、ヒューヒュー音がして苦しそう
- □ 呼吸が速く、苦しそう
- □ 肩で息をしている
- □ 頭を前後にゆするような呼吸をしている
- □ 息をするときに肋骨の間や首の根元がへこむ
- □ 元気がなく、眠りがちである
- □ 水分をとりたがらない
- □ 口の周りやくちびるの色が悪い
- □ イヌの遠吠えのような咳をする
- □ うなるような呼吸をしている
- □ 横になると苦しそう、横になって眠れない
- □ 鼻の穴がひくひくしている

1つ以上あてはまる → **かかりつけ医、または救急医療機関を受診する**

1つもあてはまらない → 様子を見ながら、翌日、かかりつけ医を受診する

様子を見ながら、翌日、かかりつけ医を受診する → 症状が悪くなるようなら → **かかりつけ医、または救急医療機関を受診する**

●観察のポイント

- 生後数ヶ月の乳児ではぜんそくのようにのどがゴロゴロ、ヒューヒューすることがありますが、機嫌もよく息苦しい様子がない場合は心配ありません。
- 呼吸が速くないですか
- 肩で息をしていませんか
- うなるような呼吸をしていませんか
- 顔色や爪の色、くちびるの色がいつもより悪くないですか

●家庭でできること

- せきが強くて吐きそうな場合、水分を少しずつ、こまめに与えましょう。水分をしっかり取った方が痰が柔らかくなりせきが楽になります。
- 寝るとせきがひどくなる時は横向きに寝かせてみましょう。
- タバコの煙はせきをひどくします、禁煙しましょう。
- 時々窓をあけて空気を入れ替えましょう。
- せきが激しいときは、部屋を加湿したり、口元に蒸したタオルを当ててあげましょう。
- ぜんそくと診断されている場合、かかりつけ医と呼吸が苦しくなった場合の対処方法を相談しておいてください。

お医者さんに伝えてほしいこと

- せきがいつからはじまりましたか
- 発熱や鼻水などの症状がありますか
- せきが起きやすい時間がありますか
- せきで眠れないこともありますか
- ぜんそくの診断で治療を受けていますか

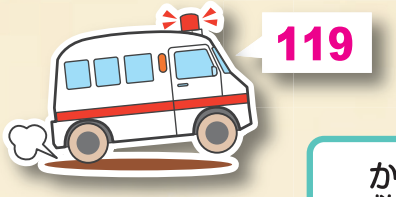
けいれん

けいれん（ひきつけ）した

- ☐ けいれんは止まったが、呼びかけても反応しない
- ☐ けいれんが止まらない
- ☐ けいれんを繰り返す
- ☐ くちびるの色が悪い
- ☐ 意識がおかしい

1つでも当てはまる

救急車を呼ぶ



- ☐ けいれんが5分以上続いた
- ☐ 初めてのけいれん
- ☐ 生後6カ月以下である
- ☐ 6歳以上である
- ☐ 最近頭をぶつけた
- ☐ 体温が高くない（38℃以下）
- ☐ 元気がなくぐったりしている
- ☐ 吐いたり、おもらしがある
- ☐ けいれんに左右差がある

1つでも当てはまる

かかりつけ医、または救急医療機関を受診する

●観察のポイント

- どんなけいれんですか
  - 手足を硬く突っ張っている
  - 手足をがくがくさせている
  - 体の一部分だけがけいれんしていないか
- けいれん後、意識はいつもの状態に戻っていますか
- 体温は何度ですか
- これまで家族にけいれんした人はいますか
- 激しく泣いた後に体が突っ張る場合は、けいれんではなく泣き寝入り引きつけです。自然に回復するので心配ありません。
- 熱が高いときには、体をがたがた震わせることがあります。

●家庭でできること

- けいれんの時に、体を押さえつけたりゆすったりしないでください。
- 舌をかむことは無いので、口の中に何も入れないようにしてください。吐くことがあるので体を横向きに寝かせて、衣服をゆるめて楽にさせてください。
- けいれんが続いた時間や左右差がないか観察してください。
- 意識が戻るまで、そばを離れないようにしてください。

お医者さんに伝えてほしいこと

- どんなけいれんでしたか
  - 手足を硬く突っ張っている
  - 手足をがくがくさせている
  - 体の一部分だけがけいれんしていなかったか
- 目の動きや手足の動きに左右差がなかったですか
- けいれん後、意識はいつもの状態に戻っていますか
- 体温は何度でしたか
- これまで家族にけいれんした人はいますか

吐いた
（吐き気が強い）

- ☐ 母乳やミルクを飲む度に、勢いよく吐く
- ☐ お腹が張っている
- ☐ 吐いたものが緑色か、血液が混じっている
- ☐ 元気がなく、ぐったりしている
- ☐ 下痢もしている
- ☐ お腹を痛がる
- ☐ けいれんがある
- ☐ 意識がぼんやりしている
- ☐ おしっこが半日くらい出ない
- ☐ くちびるが乾いている
- ☐ おしっこが黄色く、臭いがつよい

１つ以上あてはまる → **かかりつけ医、または救急医療機関を受診する**

１つもあてはまらない → 様子を見ながら、翌日、かかりつけ医を受診する

症状が悪くなるようなら → **かかりつけ医、または救急医療機関を受診する**

●観察のポイント

- 生後間もない赤ちゃんは、胃の入り口（噴門）の構造が未熟で、ちょっとした刺激で簡単にミルクを吐いてしまうことがあります。順調に体重が増えている場合は、多少吐いたりしても発育への心配はありません。
- 何度吐いたか、腹痛や頭痛ありませんか
- 食欲は、機嫌はどうですか
- おしっこは出ていますか
- 下痢はしていませんか
- お腹を痛がりませんか、お腹をさわると嫌がりますか

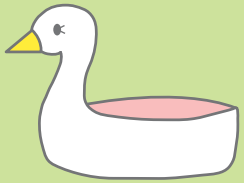
●家庭でできること

- 吐き気が強い間は無理に飲ませずに様子を見てください。
  吐き気が落ち着いてきたら、少しずつ水分（湯冷まし、お茶、イオン飲料水など）を、少量（１回30－50cc）から飲ませてみてください。
  十分な量を飲める様になったら消化のよい固形物を少しずつ与えていってください。
- 炭酸飲料水、ミカンやオレンジなどの柑橘類は避けましょう。

お医者さんに伝えてほしいこと

- 何度くらい吐いていますか
- どんなものを吐きましたか
  酸っぱい臭い、ウンチの臭い、コーヒーみたいな色、緑っぽい色、血が混じっているなど
- できれば吐いたものをとっておき、受診する時に見せてください
- おしっこの回数や色、臭いはどうですか
  ウンチがいつもと色や、臭い、性状が違う場合、とっておいて診察の時に見せてください

下痢



- ☐ 元気がなく、ぐったりしている
- ☐ おしっこが半日以上出ない
- ☐ おしっこの色が濃く、においが強い
- ☐ 何度も吐いている
- ☐ くちびるや口の中が乾いている
- ☐ 水分をとりたがらない
- ☐ 目がくぼんでいる
- ☐ けいれんがある
- ☐ 意識がぼんやりしている

1つ以上あてはまる → **かかりつけ医、または救急医療機関を受診する**

1つもあてはまらない → 様子を見ながら、翌日、かかりつけ医を受診する

症状が悪くなるようなら ← 様子を見ながら、翌日、かかりつけ医を受診する

●観察のポイント

- 何回くらい下痢をしていますか
- 食欲はどうですか、機嫌はどうですか
- おしっこは出ていますか
- 吐いていますか
- お腹を痛がらないか、優しく触ってみてください。
- どんな下痢便ですか
- 水のようですか、臭いが強いですか、血が混じっていますか
- ウンチを処理したら、すぐ手を洗ってください。

●家庭でできること

- 下痢がひどい時は、お腹を休めるために、固形物の摂取は控えましょう。
- 水分は十分に与えるようにしてください。
  母乳はそのまま与えてかまいません。
  炭酸飲料水、ミカンやオレンジなどは避けてください。
- できるだけ加熱した炭水化物やおかゆ、おじや、うどんなど消化しやすいものから与えていきます。脂っこいものや糖分の多いもの、乳製品、刺激の強いものは控えてください。

お医者さんに伝えてほしいこと

- 何回くらい下痢をしていますか、どれくらい続いていますか
- 下痢便の性状はどうですか
  腐ったような臭い、酸っぱい臭い、いつもと同じ、白っぽい色、黒っぽい色、緑っぽい色、血が混じっている
- できれば下痢便をとっておき、受診する時に見せてください
- 家族に下痢をしている人がいますか
- 水分はとれていますか
- おしっこをした回数、おしっこの色、臭いはどうですか

お腹が痛い

- ☐ 激しく泣いてしばらく泣きやむことを繰り返す
- ☐ お腹が硬く、張っている
- ☐ お腹をさわったり押すと痛がり、お腹を硬くする
- ☐ お腹を抱えるように足を曲げて痛がっている
- ☐ 便に血が混じっている、下痢をしている
- ☐ 吐き気が強い、何度も吐いている
- ☐ 股の付け根がはれている
- ☐ 睾丸がはれてさわると痛がる
- ☐ 泣きやまない、機嫌が悪い

1つ以上あてはまる → **かかりつけ医、または救急医療機関を受診する**

1つもあてはまらない → 様子を見ながら、翌日、かかりつけ医を受診する

症状が悪くなるようなら → **かかりつけ医、または救急医療機関を受診する**

●観察のポイント

- 熱や吐き気がないですか
- 下痢はしていませんか
- 痛がる部位はお腹のどのあたりですか、優しくさわってみてください。ずっと同じ場所を痛がりますか
- 赤ちゃんが泣きやまない、または繰り返し泣くときは、お腹を痛がる場合もあります。

●家庭でできること

- 便が出ていない時はトイレで排便させてみてください。
- お腹の上で「の」の字を描くように優しくさすってみてください。
- 痛みが軽く、吐き気がない場合、水分を少しずつ、こまめに与えてみてください。

お医者さんに伝えてほしいこと

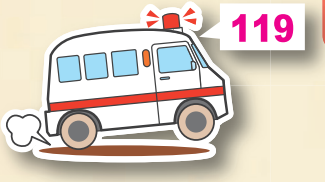
- お腹の痛みはどれくらい続きますか（何分くらい）
- 痛みがよくなったり悪くなったりしますか
- 吐いている場合は、どんな物を吐きましたか
  吐いた物は緑色ですか、血が混じっていますか、診察の際に吐いたものを見せてください。
- ウンチはいつものようにでていますか
  何回くらい排便しますか、下痢していませんか
  コロコロの硬いウンチですか
  いつもと違う場合、とっておいて受診時に見せてください

発疹（ぶつぶつ）がでた

ほかの子どもに移す可能性があります
受付で発疹が出ていることを伝えてください

- □ 息苦しそう
- □ 顔色が悪い
- □ 声がかすれてきた
- □ 苦しそうな呼吸をする

救急車を呼ぶ



- □ 薬を飲んだ後に発疹が出た
- □ くちびるや顔がはれぼったくなっている
- □ 足に小さなあざがたくさん出ている
- □ 高熱がある
- □ かゆがる、かゆそうにする
- □ 鼻血がでる、関節を痛がる

1つ以上あてはまる

1つもあてはまらない

かかりつけ医、または救急医療機関を受診する

症状が悪くなるようなら

様子を見ながら、翌日、かかりつけ医を受診する

●観察のポイント

- どんな発疹ですか
  大きさ、できた場所、発疹の色、水を含んでいるか
- かゆがっていますか
- 唇やまぶたがはれていないですか
- 激しい咳やぜーぜー、声がかすれていないですか
- 顔色や爪の色、くちびるの色がいつもより悪くないですか

●家庭でできること

- かゆがる場合、発疹の範囲が小さければ、水やタオルで冷やす。
- 発疹だけで慌てて夜間救急を受診することはありません。
- 症状が出ているうちに、デジカメ、携帯などで写真を撮り、翌日かかりつけ医を受診する時に見せてください。
- 発疹が出る病気は他の子どもに移す可能性があります。受診する前に、受付に連絡してください。

お医者さんに伝えてほしいこと

- 発疹はいつから出てきましたか
- 発熱や鼻水などの症状がありますか
- かゆみがありますか
- 周りに同じような症状の子どもがいませんか
- 薬を飲んでいますか
- 同じようなことがこれまでもありましたか

泣きやまない・いつもと泣き方が違う

- □ 生後３カ月未満で発熱している
- □ 10～30分おきに激しく泣く
- □ イチゴジャムのような血の混じった便が出る
- □ いつもより弱弱しい泣き方で元気がない
- □ 股の付け根がはれている
- □ 耳を痛がる
- □ 顔色が悪く、機嫌が悪い
- □ 頭やおなかを痛がる
- □ 急に泣きやんで、ぐったりした

１つ以上あてはまる → **かかりつけ医、または救急医療機関を受診する**

１つもあてはまらない → 様子を見ながら、翌日、かかりつけ医を受診する

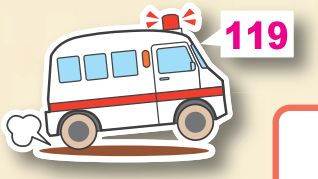
症状が悪くなるようなら → **かかりつけ医、または救急医療機関を受診する**

救急医療機関を受診する前に

事故やけがの時

誤飲（何か飲み込んだ）

意識がない 息苦しそう
→ **救急車を呼ぶ**



意識はある

- ボタン電池
- 灯油
- ベンジン
- 除光液
- 洗浄液
- 漂白剤
- 樟脳
- 硬貨 など

→ **吐かせない**

- たばこ
- ホウ酸団子
- ナフタリン
- 医薬品
- など

→ **すぐに吐かせる**

- 化粧品
- シャンプー
- せっけん
- くれよん
- シリカゲル
- マッチ
- 粘土
- 保冷剤
- など

→ **家で様子を見る**

症状が悪くなるようなら

→ **救急医療機関を受診する**

●観察のポイント

- 意識ははっきりしていますか
- 呼吸は苦しそうにしていないですか
- 顔色はわるくないですか
- 吐いたり、けいれんしたりしていませんか
- 何を、どれくらい、いつ頃誤飲しましたか

●家庭でできること

- 吐き気がある場合、吐いたものがのどに詰まらないように体を横向きにしてください。
- ピンやガラスの破片など、とがっているものは吐かさず病院を受診してください。
- 薬や薬品などは種類により対処法が異なります。下記の電話で対処法をおしえてくれます。

  大阪中毒110番（365日　24時間対応）
  　072−727−2499（情報提供：無料）
  つくば中毒110番（365日　9時〜21時対応）
  　029−852−9999（情報提供：無料）

- 直径3.5cm位までの大きさのものは、乳幼児の口に入り誤飲する危険性があります。子どもの手の届かないところに片付けましょう。

お医者さんに伝えてほしいこと

- いつ、何を、どれくらいの量、飲んだのですか
- 嘔吐しましたか
- 飲み残しの容器や吐いたもの、薬などは空き箱または説明書を、受診の際にもってきてください

家庭での対処法

対　応		水を飲ませる	吐かせる
タバコ	吸殻・葉	×	○
	タバコを浸した液	○	○
医薬品		○	○
芳香剤・消臭剤		○	○
香水・ヘアトニック・化粧水		○	○
洗濯用洗剤・台所用洗剤		○	○
ナフタリン		○（牛乳 ×）	○
樟脳		○（牛乳 ×）	×
ワックス		○（牛乳 ×）	○
石油製品（石油、ベンジン）		×	×
塩素系薬剤（トイレ用消臭剤、漂白剤）		×	○
トイレ用消臭剤		○	×
農業用殺虫剤		○	×
ボタン電池		×	×

（栃木子ども救急より引用、一部変更）

鼻血

- 体を起こして座らせ、または体を起こしたまま抱っこして、お辞儀をするように下を向かせます。
- 仰向けに寝かせると、鼻血がのどへ流れ込み、せきを誘発したり、飲み込んだ血液が刺激となって吐き気やおう吐の原因になります。
- 小鼻の少し上あたりをつまんで押さえ、15分ほど圧迫する。

これで止まらなければ救急医療機関を受診する

注意

鼻の中にティッシュペーパーなどを詰めると、取り出す時にかさぶたをはがすことになり、再び出血することになります。また詰めたティッシュが取れなくなることもあります。

やけど

やけど

- 流水で十分に冷やす
  （最低でも 20～30 分以上冷やす）
- 水ぶくれはつぶさない
- 何も塗らない

□ 子どもの手のひらより小さく、赤くなっているだけ
□ 水ぶくれはない

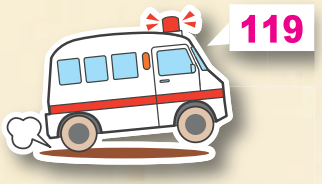
様子を見ながら、翌日、かかりつけ医を受診する

□ 水ぶくれがある
□ 子どもの手のひらより大きなやけど
□ 顔、関節部、外陰部のやけど

かかりつけ医、または救急医療機関を受診する

□ 皮膚が黒く焦げている
□ 皮膚が白くなっている
□ 全身または広範囲のやけど

救急車を呼ぶ



●観察のポイント

- 水ぶくれができていますか
- 皮膚が黒く焦げていませんか
- 皮膚が白くなっていませんか
- 顔や関節の部分、外陰部などのやけどはその後の機能に影響することがあるので、早めに受診してください。

●家庭でできること

- 痛みが引くまで流水で冷やしてください。(20分程度)
- 服を着たままのやけどは服の上から冷やします。
  衣服が皮膚にくっついているとき、無理にはがさないでください。
- 市販の解熱シートはやけどの冷却用には使えません。
- やけどの部位にはアロエなど、何も塗らないでください。
- 水ぶくれはつぶさないようにしましょう。
- 予防が大切です。
  テーブルクロスは使用しない。
  ストーブ、アイロンなど熱源に近づけないようにする。
  電気毛布、電気カーペットに長時間接すると低温やけどを起こすことがあります。

お医者さんに伝えてほしいこと

- やけどの原因
  熱湯、油、ストーブ、炊飯器やポットなどの蒸気など
- 行った処置の内容

頭を打った

意識がない

意識はある

- ☐ 打った部位がへこんでいる
- ☐ 出血が止まらない
- ☐ けいれんがある
- ☐ 何度も吐く
- ☐ ぐったりしている

1つ以上あてはまる

- ☐ 泣き出すまで数10秒かかった
- ☐ 顔色が悪く、吐き気や嘔吐がある
- ☐ 出血している
- ☐ 大人の親指以上のたんこぶがある
- ☐ ぶよぶよと腫れてきた
- ☐ 打ったあと鼻水が出て止まらない
- ☐ 普段と様子が違う

1つ以上あてはまる

1つもあてはまらない

救急車を呼ぶ

かかりつけ医、または救急医療機関を受診する

症状が悪くなるようなら

家庭で様子を見る

●観察のポイント

- 48時間は様子を見てください。
- 意識はどうですか
- ボーっとしていませんか
- 転びやすくなっていませんか
- 吐き気、嘔吐はないですか
- けいれんはないですか
- 普段と様子が違うところはありませんか

●家庭でできること

- こぶができた場合、濡らしたタオルなどで冷やして様子を見てください。
- 出血していたら、乾いたきれいなタオルで強く圧迫して止血してください。
- すぐに泣いて他に症状がなくても、少なくとも48時間は顔色、機嫌、おう吐、歩き方など様子を見ましょう。

お医者さんに伝えてほしいこと

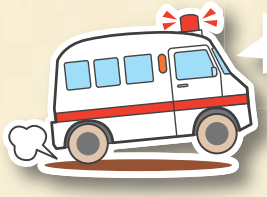
- 頭を打った原因
  転落、転倒、ぶつけたなど
- 落ちた場所、転んだ場所はどこか
  落ちた時の高さ

ハチに刺された

- □ 大量（10カ所以上）に刺された
- □ 意識がない
- □ 全身にじんましんが出た
- □ 顔色が悪くなった
- □ 苦しそうな呼吸をしている
- □ 呼吸がはやい
- □ 口の周りやくちびるの色が悪い

1つ以上あてはまる

救急車を呼ぶ



1つもあてはまらない

自宅で様子を見る
かかりつけ医、または
救急センターを
受診する

症状が悪くなるようなら

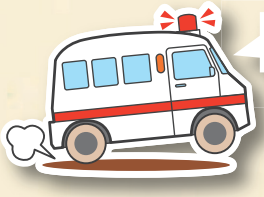
かかりつけ医、または救急医療機関を受診する

ハブクラゲに刺された時

ハブクラゲ刺傷では、むちでたたかれたような線状の痕がたくさんついている

- 顔色が悪く、口の周りやくちびるの色が悪い
- 苦しそうな呼吸をしている

救急車を呼ぶ



- クラゲの触手を素手でさわらない
- 食酢をたっぷりかけてから、手袋をしてゆっくりはがす
- 水やアルコールは触手を刺激し毒を発射する
  砂でこすり落す方法は、毒を擦り込んでしまう
- 痛みが強い場合タオルなどの上から氷嚢で冷やす

かかりつけ医、または救急医療機関を受診する

咬まれた

蛇・ハブ

ハムスター

イヌ・ネコ
ネズミ

・息苦しそうにしている
・ぜーぜーしている

救急車を呼ぶ

かかりつけ医、または
救急医療機関を受診する

**動物の口の中にはたくさんの雑菌がいます。
咬まれた傷は化膿しやすいので適切な処置が必要です。
かかりつけ医、または救急医療機関で処置をしてもらってください。**

沖縄県の小児救急医療機関

	病　　院	電話番号	所 在 地
那覇	那覇市立病院	884-5111	那覇市古島２丁目31番１号
	那覇市立病院急病センター	887-1199	
	沖縄赤十字病院	853-3134	那覇市与儀１丁目３番１号
	沖縄協同病院	853-1200	那覇市古波蔵４丁目10番55号
	前浜小児科医院	887-0800	那覇市松川２丁目５番30
南部	県立南部医療センター こども医療センター	888-0123	南風原町字新川118番地の１
	豊見城中央病院	850-3811	豊見城市字上田25番地
	南部病院	994-0501	糸満市字真栄里870番地
	沖縄第一病院	888-1151	南風原町字兼城642番地１ 注)毎週水曜日が輪番日(５週目なし) 午前０時まで
中部	中頭病院	939-1300	沖縄市知花６丁目25番５号
	県立中部病院	973-4111	うるま市字宮里281番地
北部	県立北部病院	0980-52-2719	名護市大中２丁目12番３号
宮古	県立宮古病院	0980-72-3151	**宮古島市平良字下里427－1**
八重山	県立八重山病院	0980-83-2525	石垣市字大川732番地

○診療時間は医療機関で異なりますので、受診前に必ず電話で確認してください。
○必ずしも小児科医師が診察するとは限りません。

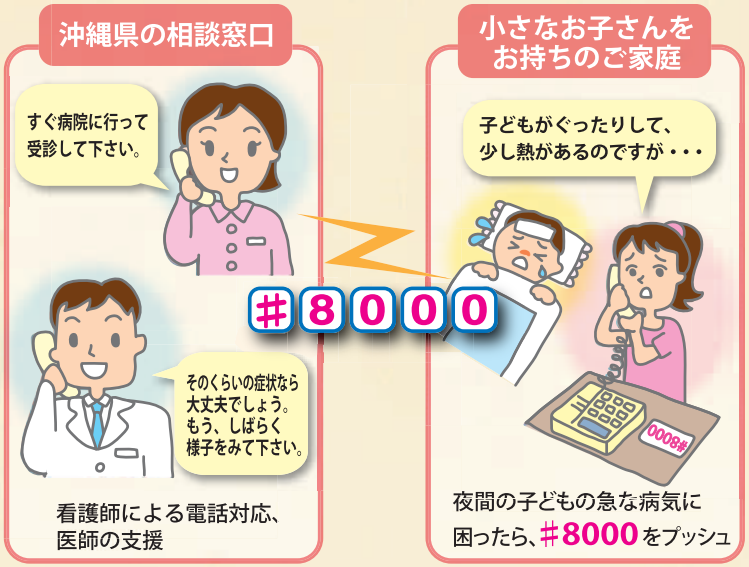
小児救急電話相談（#8000）

小児救急電話相談（#8000）事業とは

★小さなお子さんをお持ちの保護者の方が、休日・夜間の急な子どもの病気にどう対処したらよいのか、病院の診療を受けたほうがいいのかなど判断に迷った時に、看護師・医師への電話による相談ができるものです。

★この事業は全国同一の短縮番号 **#8000** をプッシュすることにより、お住まいの都道府県の相談窓口に自動転送され、看護師・医師からお子さんの症状に応じた適切な対処の仕方や受診する病院等のアドバイスを受けられます。（ダイヤル回線、**#8000** をご利用いただけない地域からおかけの場合は、電話：**098－888－5230**）

相談日時は、毎日・夜間　午後７時～午後 11 時



※沖縄の相談窓口へ自動転送されます

参考・引用文献

- **「子どもの救病ガイドブック」**・・・トヨタ関連部品健康保険組合
- **「病院に行く、その前に」**・・・県立柏原病院の小児科を守る会
- **「子どもの救急ガイドブック（第２版）」**・・・海老名市 海老名市医師会　小児科医会
- **「こども救急ガイドブック」**・・・・栃木県　**（一社）栃木県医師会**
- **「みやぎけんこどもの救急ガイドブック」**・・・宮城県 **（公社）宮城県医師会　（公社）日本小児科学会宮城地方会**
- **「子どもの救急ってどんなとき？」**・・・茨城県 茨城県小児救急医療協議会
- **「こどもの救急」**・・・**（公社）日本小児科学会**

小児救急医療啓発事業検討協議会

◎ 小濱　守安　（沖縄県立中部病院　小児科医）
○ 譜久山民子　（沖縄県南部福祉保健所　小児科医）
沖山　陽子　（沖縄県中央保健所　保健師）
我那覇　仁　（沖縄県立南部医療センターこども医療センター　小児科医）
川端　淳子　（南風原町　保健師）
崎枝　朝子　（浦添市　保育士）
下地ヨシ子　（沖縄県小児保健協会　保健師）
高良多美子　（那覇市母子保健推進員）
田仲由紀子　（子育て情報ぅぃず）
玉那覇榮一　（中頭病院　小児科医）
平古場裕子　（浦添市　保健師）
宮城　雅也　（沖縄県立南部医療センターこども医療センター　小児科医）
屋良　朝雄　（那覇市立病院　小児科医）

◎委員長　○副委員長　－ 五十音順 －

子ども救急ハンドブック

編　　集：**公益社団法人沖縄県小児保健協会**
発 行 日：平成２２年　３月３１日　初　版
平成２２年１１月３０日　第２版
平成２３年　５月２０日　第３版
発　　行：沖縄県

大切な情報

アレルギー歴（有・無）

●食べ物・他

●お薬の名前

副作用歴（有・無）

●お薬の名前

主な既往歴（有・無）

- ☐ アレルギー疾患（　　）
- ☐ 肝疾患（　　）
- ☐ 心疾患（　　）
- ☐ 腎疾患（　　）
- ☐ 消化器疾患（　　）
- ☐ その他（　　）

※詳細は医師、歯科医師、薬剤師に記入してもらってください。

MEMO